

決 議

リニア中央新幹線は、その開業により、東京・名古屋・大阪間の時間距離が大幅に短縮されることでスーパー・メガリージョンの形成が期待されている。また、東京・大阪間の二重系化による災害に強い交通ネットワークの形成に不可欠であり、加えて地球環境保全の面でも優れた特性を持つ大量高速輸送機関として期待されている。

当地域にとって、高い国際競争力を有するモノづくり産業を中心に、今後様々な分野で更なる発展を目指すために、極めて重要な基盤となるものであり、これを最大限に生かす交通ネットワークの整備が必要である。なかでも、中部圏の中心となる名古屋駅において、他の交通機関との乗換や中部国際空港へのアクセス等の利便性向上など、交通結節機能を一層強化していくためのスーパーターミナル化に向けた整備は、スーパー・メガリージョンの形成によりもたらされる効果を広域的に拡大させるために不可欠なものである。

国家的プロジェクトであるリニア中央新幹線は、平成23年5月に全国新幹線鉄道整備法に基づき、東海旅客鉄道株式会社に対して建設の指示が出され、東京都・名古屋市間においては、環境影響評価の手続を経て、平成26年10月に工事实施計画が認可された。平成28年12月には名古屋駅で起工式が行われ、現在、建設工事が本格的に進められているところである。

早期整備に向けては、東海旅客鉄道株式会社において、安全と環境保全、地域との連携を重視して着実に工事を進めていただくとともに、関係者が一体となって推進していく必要がある。

よって、我々は、リニア中央新幹線の早期全線整備に向けて、次の事項について一致団結して強力な運動を展開する。

- 1 東京・名古屋間については、工事实施計画に基づき着実に事業を進め、早期整備を図ること。特に、未着工区間については、国、東海旅客鉄道株式会社及び関係者による協議を迅速に進め、早期着手を図ること。

事業の実施に当たっては、工事の安全と環境の保全に万全を期し、丁寧な説明と適切な情報提供などを行い、地域の理解を得ながら進めるとともに、地域の事業者を活用するなど地域の活性化に資するよう努めること。

- 2 ターミナル駅となる名古屋駅の整備に当たっては、他の交通機関との乗換利便性の向上や、駅上部空間の有効活用等について地域の意向を十分に尊重すること。また、名古屋駅のスーパーターミナル化について、国家的プロジェクトとして位置づけ、強力に推進すること。
- 3 技術開発等による大幅なコストダウンに努めるとともに、一日も早い全線開業のための方策を示すこと。
- 4 リニア中央新幹線の開業効果を高めるため、交通ネットワークの充実・強化や、駅周辺のまちづくり事業等に関する地域の取組に支援・協力すること。

以上決議する。

2020（令和2）年7月28日

リニア中央新幹線建設促進愛知県期成同盟会